

## 八丈島におけるマンゴーの生育特性 ～八丈島での栽培に適した品種の把握～

八丈島において「アーウィン」「キーツ」「金煌（キンコウ）」のいずれの品種も正常な生育を示しましたが、「キーツ」および「金煌」は果実の成熟期が遅く、翌年の花芽を確保するために行う8月下旬～9月上旬の剪定に間に合わないことや、収穫適期の判断が難しいことから、八丈島での栽培には適さないことが分かりました。

|      |       |     |                    |
|------|-------|-----|--------------------|
| 実施機関 | 八丈事業所 | 事業名 | 八丈管内の遺伝資源の収集・評価・保存 |
|------|-------|-----|--------------------|

### 背景・ねらい

八丈島では以前よりマンゴーの栽培が行われてきましたが、生産者ごとに栽培している品種が異なり、栽培方法も多様でした。そこで代表的な品種「アーウィン」と、炭疽病に強い2品種（表1）を選定し、八丈島の栽培条件下での生育特性を調査しました。

### 成果の内容・特徴

#### ① 定植1年目の生育調査

2020年4月に苗を定植し、摘芯後に発生した新梢の長さは「金煌」「アーウィン」「キーツ」の順に長く、「金煌」と「キーツ」では10cm以上の差がありました。いずれの品種も10月以降は伸長速度がゆるやかになりました。発生した新梢の直径は、「金煌」「アーウィン」「キーツ」の順に太く、「キーツ」は「金煌」の約半分でした。いずれの品種も測定期間を通し肥大を続けました（図1）。

#### ② 定植2年目の生育調査

2021年度は新梢の発生数、翌年花芽になる可能性がある頂芽数を調査しました。なお、新梢発生を促進するための剪定を「アーウィン、キーツ」では9月2日に行いましたが、「金煌」は8月時点で十分量の新梢が得られたため剪定は不要と判断しました。いずれの品種も5月まで新梢は発生せず、6～7月、また剪定した品種は9月に顕著に増加しました。10月時の頂芽数は3品種ともに同程度確保できました（表2）。

#### ③ 定植3年目の生育および開花特性調査

新梢発生数は3品種で差はありませんでした。開花の開始と最盛期はそれぞれ「金煌」が3月下旬と3月下旬・4月上旬、「キーツ」が4月上旬と4月下旬、「アーウィン」が4月中旬と4月下旬でした（データ略）。

#### ④ 定植4年目の果実品質

2023年度に3品種の果実品質を調査しました。果実の収穫盛期は「アーウィン」が8月14日、「金煌」が9月4日、「キーツ」が10月20日でした。果実品質は「アーウィン」は果肉が柔らかく、かつ果汁も多く糖度は15度でした。「金煌」は果肉が柔らかいものの、果汁は少なく糖度は25度以上でした。「キーツ」は果肉が柔らかく、果汁は中程度で糖度は25度以上でした（表3）。また、「アーウィン」は収穫適期になると自然に落果しますが、他の2品種は落果しないため、収穫適期の判断には経験を要することが分かりました。果実品質の調査を優先したため1花房に1～2果結実させたことから、葉果比が小さくなり、果実肥大については正確な比較はできませんでした。

### 成果の活用と反映

八丈島での営利栽培に適した品種と、難しい品種やその問題点が明らかになりました。

（菊池 知古）

表1 供試品種の特性<sup>a</sup>

| 品種名   | 果形  | 果皮色 | 果重(g)    | 繊維 | 糖度(Brix) | 成熟期                  | 特性          | 炭疽病 |
|-------|-----|-----|----------|----|----------|----------------------|-------------|-----|
| アーウィン | 長卵形 | 鮮紅色 | 300~500  | 極少 | 12~15    | 6~8月上                | 肉質は細かく多汁    | 弱い  |
| キーツ   | 長卵形 | 緑色  | 500~2000 | 少  | 15       | 8~10月                | 味が濃厚でクセが少ない | 強い  |
| 金煌    | 細長  | 黄色  | 600~2000 | 極少 | 17       | 8月下~9月上 <sup>b</sup> | なめらかでクセが無い  | 強い  |

a) 沖縄県八重山郡竹富町の種苗業者資料

b) 沖縄県名護市の種苗業者資料

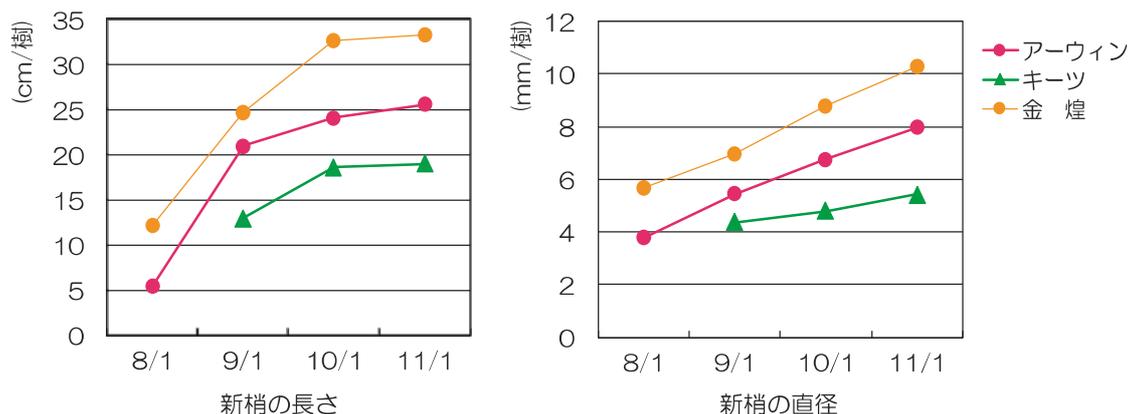


図1 摘芯後に発生した新梢の長さおよび直径

表2 各月の新梢発生数と10月時点での頂芽数

| 品種    | 新梢発生数 (本/株) |    |    |    | 頂芽数 (/株) |
|-------|-------------|----|----|----|----------|
|       | 6月          | 7月 | 8月 | 9月 | (10月上旬)  |
| アーウィン | 4           | 1  | 1  | 5  | 7        |
| キーツ   | 5           | 3  | 0  | 10 | 12       |
| 金煌    | 9           | 8  | 0  | 5  | 11       |

表3 各品種の果実品質および収穫盛期<sup>a</sup>

| 品種  | 果皮色 <sup>b</sup> | 収穫盛期  | 1果重 (g) | 縦長 (cm) | 幅 (cm) | 厚 (cm) | 果肉硬度 <sup>c</sup> | 果肉の緻密 <sup>c</sup> | 果汁の多少 <sup>c</sup> | 糖度   | pH  | 総着果数(個) |
|-----|------------------|-------|---------|---------|--------|--------|-------------------|--------------------|--------------------|------|-----|---------|
|     |                  |       |         |         |        |        |                   |                    |                    |      |     |         |
| キーツ | 濃橙赤~穉緑           | 10/20 | 470     | 107     | 89     | 79     | 軟                 | 密                  | 中                  | 25.8 | 4.7 | 14      |
| 金煌  | 明赤橙~濃黄緑          | 9/4   | 423     | 135     | 73     | 65     | 軟                 | 密                  | 少                  | 25.4 | 4.3 | 60      |

a) 表中の数値はアーウィン3樹、キーツ2樹、金煌3樹から収穫した5果の平均値

b) 日本園芸植物標準色票により判定 c) 農林水産植物種類別審査基準の「マンゴー種」により判定